



平成22年4月6日

車のパワーウィンドウに子どもの手指が挟まれた事故について  
～パワーウィンドウの操作時における手指の挟まれにご注意を！～

先日、東京消防庁管内において、母親が乗用車の後部座席のパワーウィンドウを閉めた際に生後11カ月の乳児の右手が挟まり、小指を切断する事故が発生しました。

当庁管内では、平成17年4月から平成21年12月末までに、パワーウィンドウに子どもの手指等が挟まれた事故により、8人が医療機関に救急搬送されています。

特に、乳幼児がパワーウィンドウに挟まれた場合は、重大な事故になることが多いことから、東京消防庁では、注意を呼びかけています。

- 1 今回の事故と同様に、パワーウィンドウに子どもの手指が挟まれ、指を切断する事故が1人発生しています。
- 2 負傷者の8人中4人が1歳児であり、そのうち、2人が中等症（入院を要するもの）です。

詳細は、添付資料をご覧ください。

問い合わせ先

東京消防庁 (代) 電話 3212 - 2111  
生活安全課生活安全係 内線 4206  
広報課報道係 内線 2345～2349

## パワーウィンドウに挟まれた事故の発生状況等

先日、東京消防庁管内において、母親が乗用車の後部座席のパワーウィンドウを閉めた際に生後11カ月の乳児の右手が挟まり、小指を切断する事故が発生しました。

当庁管内では、平成17年4月から平成21年12月末までに、パワーウィンドウに子ども手指等が挟まれた事故により、8人が医療機関に救急搬送されています。

特に、乳幼児がパワーウィンドウに挟まれた場合は、重大な事故になることが多いことから、東京消防庁では、注意を呼びかけています。

### 1 初診時程度別年齢別発生状況（平成17年4月～平成21年12月）

単位：人

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	計
重症	—	—	—	1	—	—	—	1
中等症	3	—	—	—	—	—	—	3
軽症	1	1	—	—	—	1	1	4
計	4	1	0	1	0	1	1	8

(凡例) 重症：生命に危険があるもの

中等症：生命の危険はないが、入院の必要があるもの

軽症：入院の必要がないもの

### 2 過去の事故概要

発生年月	負傷者	事故概要
平成18年7月	2歳女兒	乗用車のパワーウィンドウに指を挟まれ受傷したもの（開放性骨折、軽症）。
平成18年8月	7歳女兒	窓を開けるため、車のパワーウィンドウの操作をした際に、窓ガラスとドアの隙間に右手が引き込まれ受傷したもの（創傷、軽症）。
平成19年3月	1歳男児	走行中に、乗用車の窓から子どもが手を出していたところ、誤って自分でパワーウィンドウを操作したために、窓が閉まり挟まれ受傷したもの（開放創傷、軽症）。
平成19年5月	6歳男児	乗用車の助手席に座っていた子どもの左手が窓から出ていたのに気付かず、助手席側のパワーウィンドウを閉めたところ、子どもの左手の指が挟まれ受傷したもの（打撲・血腫、軽症）。
平成19年9月	1歳女兒	乗用車のパワーウィンドウに右手中指を挟まれ受傷したものの（切断、中等症）。

発生年月	負傷者	事故概要
平成19年12月	1歳男児	運転中の母親が後部座席の窓を閉めるためにパワーウィンドウの操作をした際に、後部座席に座っていた子どもの右手中指が挟まれ受傷したもの（挫傷、中等症）。
平成20年11月	1歳男児	子どもがパワーウィンドウの操作を自分で行ったため、誤って右手中指と薬指を挟まれ受傷したもの（挫傷、軽症）。
平成21年9月	4歳男児	乗用車の後部座席で窓から子どもが頭を出しているときに、パワーウィンドウに首を挟まれ受傷したもの（窒息、重症）。

### 3 事故防止のポイント

- (1) 2歳未満の子どもでも、パワーウィンドウを自ら操作して受傷していることから、子どもを乗せるときは、パワーウィンドウのロック機構を必ず使用する。
- (2) パワーウィンドウを操作する時は、必ずパワーウィンドウの閉まる様子を確認しながら行う。
- (3) パワーウィンドウの危険性を理解できない子どもやパワーウィンドウによる事故を予測できない子どもには、パワーウィンドウを操作させず、開閉は必ず大人が安全を確認して行う。